○ インターネットオプションの詳細設定

電子入札システムでファイルをアップロードする際に、ファイルのパス名が「fakepath」と表示されてしまう場合は インターネットオブションの詳細設定を確認してください。

-	1	゚スの先頭が「	C:¥fakepath¥」と表示	されてしまう
---	---	---------	------------------	--------

内記事	C:¥fakepath¥5horui¥入札公司	内訳書追加	C-¥Shoru¥入札公共	毎日
-----	-------------------------	-------	---------------	----

1. メニューバー[ツール]-[インターネットオプション]①をクリックします。

ツール(T) ヘルプ(H)	
閲覧履歴の削除(D)	Ctrl+Shift+Del
InPrivate ブラウズ(I)	Ctrl+Shift+P
エンタープライズ モード(R)	
追跡防止を有効にする(K)	
ActiveX フィルター(X)	
接続の問題を修正(C)	
最終閲覧セッションを再度開く(S)	
サイトをアプリ ビューに追加(A)	
ダウンロードの表示(N)	Ctrl+J
ポップアップ ブロック(P)	>
Windows Defender SmartScreen フィルター(T)	>
メディア ライセンスの管理(M)	
アドオンの管理(A)	
互換表示設定(B)	
このフィードの受信登録(F)	
フィード探索(E)	>
パフォーマンス ダッシュボード	Ctrl+Shift+U
F12 開発者ツール(L)	
OneNote Linked Notes	
Send to OneNote	
Web サイトの問題を報告(R)	
インターネットオプション(O)	

2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

 (1)[セキュリティ]タブ①をクリックします。
 (2)[信頼済みサイト]②をクリックし、〔レベルのカスタマイズ〕ボタン③をクリックします。



セキュリティ設定 - 信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。

 (1) [サーバにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める]①を[有効にする]に変更します
 (2) [OK]ボタン②をクリックします。

セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	×
設定	
 ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 無効にする ◎ 有効にする ○ アプリケーションと安全でないファイルの起動 ◎ ダイアログを表示する ○ 毎効にする 	
 ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 有効にする ○ 第次にする ○ 一 年効にする ○ 一 年効にする ○ 一 年効にする ○ 一 有効にする 	
ドメイン間でのデータソースのアクセス ○ ダイアログを表示する < > > *コンピューターの再起動後に有効になります	-
カスタム設定のリセット リセット先(R): 中 (既定) 〜 リセット(E)	
2 ОК ++>12Л	4

4. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。